

令和5年度金属資源プロセス研究センターワークショップ

カーボンニュートラル製鉄への動向

鉄鋼生産におけるカーボンニュートラル化が求められている。コークスを還元材として用いる高炉製鉄法から、水素利用高炉や水素還元鉄を用いた電気炉製鉄へのシフトが検討されている。これらのプロセスには水素の供給以外の課題も多く、国家プロジェクトをはじめとして、多くの検討・研究が進められている。例えば製錬のエネルギー効率向上や鉄スクラップの循環利用等は従来からの課題として取り組まれていたが、直接還元鉄の導入などで新たな検討が必要となっている。本ワークショップでは現状のカーボンニュートラル製鉄に関連する研究を紹介するとともに、今後の製鉄研究の動向について意見交換を行う。

記

主催： 東北大学多元物質科学研究所金属資源プロセス研究センター

共催： 日本鉄鋼協会東北支部

日時： 2024年1月25日（木） 15:00-17:00

場所： 東北大学多元物質科学研究所 南二号館会議室（5F）

プログラム:

15:00-15:05	趣旨説明	
15:05-15:30	電気炉製鉄への期待	東北大学 教授 植田滋
15:30-16:05	トランプエレメント除去	日本工業大学教授 内田祐一
16:15-16:55	特別講演	延世大学校教授 Min DONGJOON
16:55-17:00	総合討論	東北大学助教 岩間崇之

以上

取りまとめ 東北大学多元物質科学研究所 植田滋 tie@tohoku.ac.jp